

単位数	教科担当者	使用教科書・補助教材・その他
2	安田直己	ドイツ語ってすてきた！ (三修社)
必履修 学校必履修 必修選択 ○自由選択		

◆学習の目標

ドイツ語の学習を通して、英米人とは異なったものの見方、考え方、生活様式を知ることによって、物事を見つめ考える視野を広げる。

◆主な学習内容・方法

- (1) 文の構造 — 動詞の位置
- (2) 動詞、名詞、形容詞などの変化

◆到達目標と評価の観点

[標準] [応用]  
 文の構造を理解し、辞書を引きながら平易なドイツ文を読み、書き、話し、CDを併用しながら聞く能力を養成することを目標とする。この目標がどれだけ達成されたかを評価の観点とする。

◆評価の方法

- ・ペーパーテストと学習意欲を総合して評価する。

◆年間予定授業時間

予定時数	70 時間	1学期 (26時間)	2学期 (28時間)	3学期 (16時間)
------	-------	------------	------------	------------

◆学習のしかた（予習・復習・宿題・課題・その他）

- ・予習・復習をしっかりとやって授業に臨もう。
- ・その際に、CDをよく聴いてドイツ文を何度も音読しよう。
- ・特に、復習の際には、感情移入してドイツ文を繰り返し音読しよう。

◆授業計画

学期	月	単元・教材等	単元ごとの時間数	学習の内容	注意すべきこと
1 学期	4	Lektion 1 発音	3	1 「母親は息子の先生に手紙を書いた」の下線部の表現法	①ドイツ語の発音に慣れよう。 ②名詞は定冠詞をつけて覚えよう。 ③変化形は何度も声に出して覚えよう。
	5	Lektion 2 モーツアルトの町	6	2 動詞が主語によって変化する	
		Lektion 3 ミュンヘンに住んでいる	6	3 冠詞類の格変化	
	6	Lektion 4 誕生日に	5		
	7	Lektion 5 ウィーンに行こう	6		
2 学期	8	Lektion 6 ぼくのこと好き？ Lektion 7 静かに流れるライン河 Lektion 8 美わしのシェーンブルン Lektion 9 失礼ですが Lektion 10 ケルンで買い物	5	1 人称代名詞の格変化	①前置詞の格支配を理解しよう。 ②英語と異なる現在完了の用法を理解しよう。 ③動詞の位置に注目しよう。 ④名詞の前に置かれた形容詞の形を理解しよう。
	9			2 前置詞と名詞の結びつき	
	10			3 現在完了、未来形	
				4 助動詞構文	
	11			5 主文と副文	
	12			6 「小さな子供」などの下線部形容詞の形	
3 学期	1	Lektion 11 ハンブルクの大学で	6	1 分離動詞	①動詞の中には、1つの動詞が2つに分かれるものがある。 ②zu不定詞の句の用法 ③再帰代名詞と人称代名詞を区別しよう。 ④関係文中での動詞の位置に注意しよう。
	2	Lektion 12 ベルリンの壁がなくなって	5	2 zu不定詞 3 非人称動詞 4 再帰動詞	
	3	Lektion 13 詩と音楽の美しい町に	5	5 受動態 6 関係代名詞	